

令和4年度（2022年度）県立高等学校生徒募集 定員について

このことについて、別紙のとおり定めることとする。

（提案理由）

県立高等学校生徒募集定員については、熊本県立高等学校学則第4条第2項の規定に基づき、教育委員会において定める必要がある。

参考：関係法令条項

●熊本県教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則

（平成20年4月1日施行 教育委員会規則第5号）

第2条（教育長へ委任しない事務）

（14）県立学校生徒募集定員の決定

●熊本県立高等学校学則（昭和40年 教育委員会規則第16号）

第4条（課程、学科及び募集定員）

2 高等学校の募集定員は、熊本県教育委員会が別に定める。

(別紙1)

学科改編(学級減)の概要

1 対象となる学校及び学科改編(学級減)

- (1) 熊本県立菊池高等学校の普通科4学級を1学級減じ、普通科未来探究コース1学級及び普通科地域探究コース2学級に改編する。
- (2) 熊本県立鹿本高等学校の普通科5学級を1学級減ずる。

2 学科改編(学級減)の理由

(1) 熊本県立菊池高等学校

平成24年度以降、学校全体で10年連続40人以上の定員割れの状況が続いている。今後の菊池市及び山鹿市の中学校卒業予定者数は下げ止まりの傾向であり、この機会に菊池市との連携をさらに深め、地域課題の解決を図る学校として、普通科に新たなコースを設置し、学校の魅力をさらに高める。

具体的には令和4年度に、普通科を教科横断的・総合的に問題を解決することのできる人材の育成を目指して、科学的手法に基づいた探究的な学びに取り組む「未来探究コース」1学級と、地域の行政及び商工会・企業等と連携を図りながら、体験的・実践的な学びに取り組む「地域探究コース」2学級の計3学級とし、1学級減ずる。

(2) 熊本県立鹿本高等学校

平成26年度以降、学校全体で8年連続40人以上の定員割れの状況が続いている。平成31年度の学科改編により、学校全体での探究的学習や教科横断的な学習の充実を図り、STEAM教育につながるクロスカリキュラムを実践してきた。

令和3年度から、国のSSH事業の指定を受け、全学科において、地域の大学や研究機関、企業等と連携した様々な探究活動やSTEAM教育に取り組むこととしている。今後は、地域や社会が抱える課題を自ら考え、持続可能な社会の実現を目指し、新しい時代を切り拓いていくイノベーター(革新者)やグローバルリーダーを育成していく。

3 施行日

令和4年4月1日

(別紙2)

令和4年度(2022年度)県立高等学校生徒募集定員

1 全日制高等学校の生徒募集定員は、11,160人とする。

内訳

(単位:人)

学区	令和4年度定員(A)	令和3年度定員(B)	増減 (A)-(B)	備考
県央	4,960	4,960	0	
県北	2,840	2,920	▲80	・菊池高校 1学級減 ・鹿本高校 1学級減
県南	3,360	3,360	0	
計	11,160	11,240	▲80	

2 定時制高等学校の生徒募集定員は、440人(前年度と同じ)とする。

3 高等学校専攻科の生徒募集定員は、10人(前年度と同じ)とする。

